

Lesson 10 New Classic Blues Rhythm

Lesson 10 ブルースリズム

今回は、ブルースの有史以来、JAZZ やポップスなどでも活用されてきたとても有名なりズムパターンを紹介するよ。きっと聴いたことがあるよ。

-playing(0:17)-

6弦開放Eをメインとしたとてもシンプルなパターンだね。
人差し指で5弦2フレットAを押さえて、5弦4フレットC#は薬指だ。

-playing(0:44)-

Jimmy Reedがこのパターンの先駆者だね。
この次にIVコードのAに行くよ。
弦が変わるだけで今までと全く同じ動きだよ。

-playing(1:05)-

(2:11)

気付いたかもしれないけど、途中いくつか違う音（5弦5フレットDなど）を混ぜたよね？

-playing(2:16)-

もちろん、やってもやらなくてもいいんだけど、ちょっとスライドアップしてやるだけだよ。

-playing(2:27)- (半音ずらすだけだ) (そして、同じことをAコードでも)

【注記】

- ・押弦するポイントについてRobbenは様々な言い方をしていますが、ここでは「5弦3フレットC」「6弦開放E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robbenの実際の言葉とは若干違った表現になっている個所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robbenが言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robbenの言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいうように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。

翻訳 山岸敦